

自分から見た税

柏市立風早中学校 第三学年 和田 森人

僕と税金は、今とても離れた関係にあるとずっと思い込んでいました。しかし、税についての授業を通していく中で、僕が税に持つ価値観がどんどん変わっていきました。まずそもそも今まで僕は、「税」という言葉は聞いたことがあるものの、「税」についての知識はほぼありませんでした。

僕が、今まで税について深く触れてきた経験は、数えるほどしかありません。なんとなく税金は国に支払うお金というイメージが強かったです。でも、税というのはとても大事なお金だと気づかされました。最初に僕は、税の種類がともたくさんあることに驚きました。物の定価に少しだけ上乘せする消費税、一定以上の所得を持っている人が、支払う必要がある所得税などは知っていましたが、たばこに付くたばこ税や、自動車に付く自動車税などは初めて聞いたので、とても勉強になりました。そしてこの税も税を負担する人が直接納める直接税と、税を負担する人とそれを納める人が異なる税の間接税の二つに分類できることも初めて知りました。そして僕は一つ疑問に思いました。「なぜ、多くの種類の税があるのだろうか?」と。その答えとしては、「公平に負担させるため。」だそうです。確かに、一人一人の税金の納める額が違ってくるのと格差や差別などが起こってしまうけど、公平にすればそれらは一切起こりません。税にも、そういう工夫があるのだなと思いました。

そして僕が一番驚いたことは、「税の使われ方」です。僕は、今まで税は、「国のえらい人たちのために使われているのかな。」と思っていました。ですが、その考え方とはまったく違った使われ方でした。税のほとんどは、道路や公園などの公共の場所の整備や、僕たちの生活や健康を守るために使われていて、僕たち国民のために使われていることを知って驚きました。そして僕たちが通っている学校や、使っている教科書なども税金によって払われていることにも驚かされました。

僕は税のことについてたくさん学んだことで、税のイメージが大きく変わり、「税は国民全員が公平に払い、そして払った税金が自分達の暮らしを豊かにしてくれるすごい物」というイメージを新しく持ちました。また税を払っているのは大人だけでなく、僕達子どもも同じように払っているんだと気づきました。しかも、国民の三大義務にも納税の義務があるとわかりました。

これから僕は大人になっていくので、一国民として納税の義務をしっかりと果たし、これからの日本の社会に貢献していきたいです。